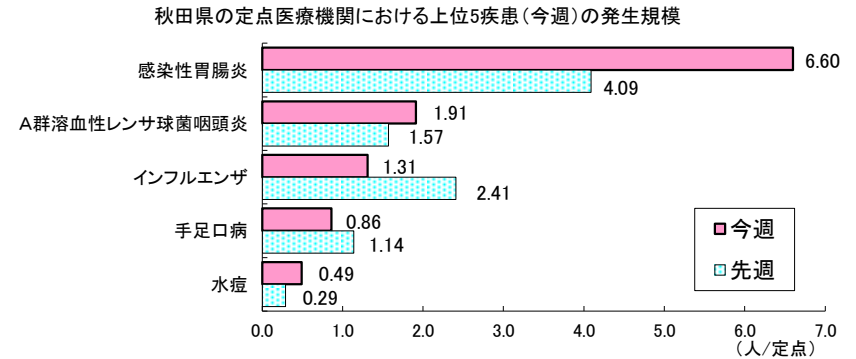




【第19週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で61%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、北秋田、能代、由利本荘で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で22%増加しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、秋田市、大館、横手、湯沢で減少しています。
3. インフルエンザは、県全体で46%減少しています。保健所別では、北秋田、秋田中央で増加、秋田市、大館、能代、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減
RSウイルス感染症	0.06		↘																											
インフルエンザ	2.41	1.31	↘	2.09	0.45	↘	0.71		↘		0.67	↗	1.00	0.75	↘	0.33	0.83	↗	0.67	0.17	↘	4.43	3.86	↘	0.67		↘	2.20	1.00	↘
咽頭結膜熱	0.20	0.31	↗	0.14	0.43	↗							0.25		↘	0.25			0.25			0.25	1.00	↗				0.75	0.75	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.57	1.91	↗	1.43	1.29	↘	1.75	1.00	↘				0.33	0.67	↗	1.75	2.75	↗	1.50	2.25	↗	2.75	6.75	↗	2.00	1.00	↘	1.75	0.50	↘
感染性胃腸炎	4.09	6.60	↗	5.86	13.00	↗	3.00	4.75	↗	3.00	1.00	↘	10.67	7.67	↘	3.75	5.50	↗	4.25	3.00	↘	1.25	5.50	↗	4.33	11.33	↗	0.50	1.50	↗
水痘	0.29	0.49	↗	0.71	0.71			0.25	↗					1.33	↗	0.75	1.00	↗	0.50	0.75	↗									
手足口病	1.14	0.86	↘	1.57	2.29	↗	5.00	2.25	↘	0.50		↘				1.00	0.25	↘				1.00	0.75	↘				0.25	↗	
伝染性紅斑	0.03	0.06	↗											0.33	↗	0.25									0.33	↗				
突発性発しん	0.26	0.29	↗	0.71	0.71		0.75		↘								0.50	↗				0.25	0.25			0.67	↗			
百日咳																														
ヘルパンギーナ	0.06	0.03	↘				0.50		↘																				0.25	↗
流行性耳下腺炎		0.20	↗		0.29	↗		1.25	↗																					
川崎病	0.03		↘																						0.33	↘				
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*								1.00	↗	*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.43	↗	0.33	1.00	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	1.13	↗								4.00	↗				*	*					1.00	3.00	↗		2.00	↗			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.38	0.63	↗													*	*					1.00	4.00	↗	2.00	1.00	↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点当たり換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。

発生報告

<全数把握対象疾患>
 ・二類感染症の結核が北秋田保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
 ・四類感染症のつつが虫病が大仙保健所管内から1人、報告されました。
 ・四類感染症のレジオネラ症が大館保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患> (人)

類型	疾患名	1週-18週		19週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	痘そう			
	ペスト			
	南米出血熱			
二類	急性灰白髄炎			
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	結核	7180	36	2
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	319	3	
	コレラ			
	細菌性赤痢	52		
	腸チフス	14		
	パラチフス	5		
四類	E型肝炎	129	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	97		
	エキソコックス症	10		
	黄熱			
	オウム病	5		
	回帰熱			
	Q熱			
	狂犬病			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	5		
	腎症候性出血熱			
	炭疽			
	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	50	1	1
	デング熱	63		

トピックス

<つつが虫病患者が発生する季節です>

秋田県内における今年最初のつつが虫病患者の発生届が5月8日にありました。つつが虫病は、ツツガムシというダニの一種(図1)によって媒介される感染症です。ツツガムシは、普段は地表や地中で他の虫の卵などを餌として生活していますが、幼虫の時期に1度だけ、次の成長段階へ進むためにヒトを含む脊椎動物に吸着し、栄養として動物の組織液を取り入れる性質があります。野外に無数にいるツツガムシのうち、病原体を持つことがある種はごくわずかですが、秋田県では、例年20名前後の患者発生があり、発生のピークは5月~6月です(図2)。農作業や山菜採り、魚釣りなど、野外活動の際にツツガムシの幼虫に取り付かれ、発病する例が多くみられます。

【症状】
 つつが虫病は病原体を持ったツツガムシの幼虫に吸着された後、7~10日後に発症します。人から人への感染はありません。主な症状は、38~40℃の高熱とその後に現れる発疹です。ツツガムシに吸着された部分の皮膚が変化した1cmほどの大きなカサブタが身体のどこかにあることも特徴的です。発病から早期に適切な抗菌薬による治療を受けると通院治療で完治しますが、治療が遅れた場合は入院治療を要し、死亡してしまうこともあります。

【予防法】
 ツツガムシを体に寄せ付けないことが第一です。もし、ツツガムシが身体に取り付いても、感染するまでには6時間以上かかるため、この間を利用した次のような対策が有効です。

- 1) 野山、田畑、河川敷から帰った後は早めに着替える。
- 2) 衣類は室内に持ち込まず、すぐに洗濯をする。
- 3) 帰宅後は、速やかに入浴し体を入念に洗う。

また、ツツガムシの忌避効果が認められている虫除けスプレー剤があります。効果は塗布部に限定され持続時間も限られるため、上記1)~3)の対策の補助として活用ください。この時期、高熱・発疹などの症状があった場合は、早急に内科、皮膚科などの医療機関を受診しましょう。その際、発病前の活動(農作業、山菜採り、登山など)を伝えることが大切です。

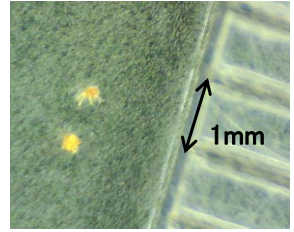
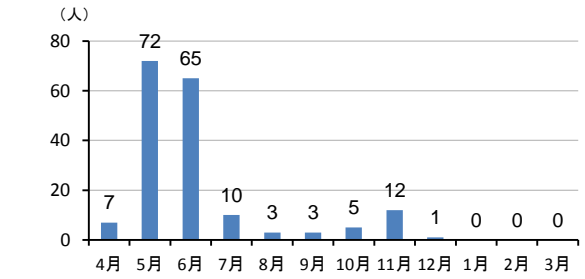


図1 ツツガムシの幼虫2匹
 ※とても小さいので体に付いていても気が付くことはできません。



つつが虫情報

No.3

届出年月日	平成29年5月15日
患者の住所	秋田市保健所管内
患者の年齢	70代
性別	男性
症状	発熱、発疹、刺し口(腹部)
診断年月日	平成29年5月15日



2016年/2017年シーズン (2016年36週 :9月5日~) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

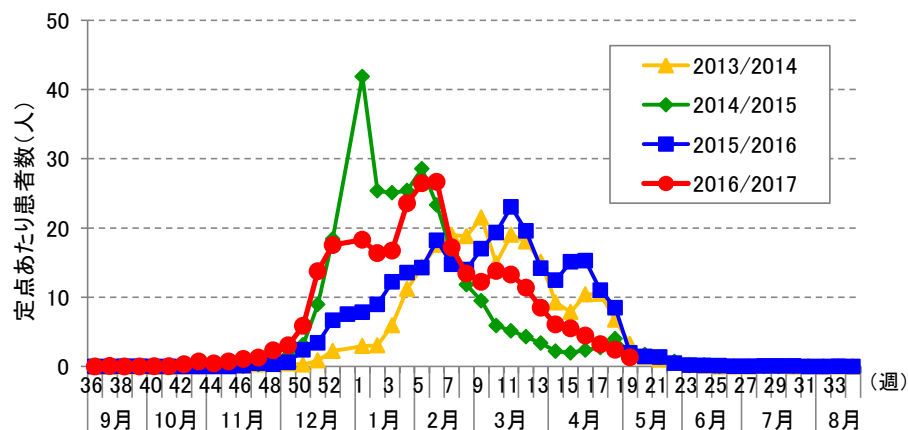


図: 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2016/2017シーズン

秋田県および全国におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
5/8~5/14 (19週)	累計	5/1~5/7 (18週)	累計
4	256	107	15,282

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

インフルエンザによる集団発生報告

5月11日から5月17日の間に、インフルエンザによる集団発生の報告はありませんでした。

○今シーズンの報告状況

累計施設数121: 社会福祉施設63、保育園・幼稚園45、病院13

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数82: 社会福祉施設17、保育園・幼稚園59、病院6

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)の状況

5月11日から5月17日の間に、インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)が1件報告されました。

区分	学校名	報告日	措置状況	措置学年・学級	措置期間
小学校	大仙市立高梨小学校	5/12	学年閉鎖	6年生	5/12 ~ 5/12

○今シーズンの措置状況

累計施設数299: 休校・休園18、学年閉鎖145、学級閉鎖136

<参考>

○昨シーズンの措置数

累計施設数269: 休校・休園12、学年閉鎖164、学級閉鎖93

※同一施設で同一週(月曜日~日曜日)に休校、学年閉鎖、学級閉鎖をした場合は、休校>学年閉鎖>学級閉鎖の順位で1とカウントしています。

感染症の集団発生報告

●手足口病による集団発生が1件報告されました。

発生届出日 平成29年5月17日

受付保健所 大館保健所

施設名称 大館乳児保育園

有症者数 園児66名のうち10名

把握期間 5月8日から5月17日まで



感染性胃腸炎情報

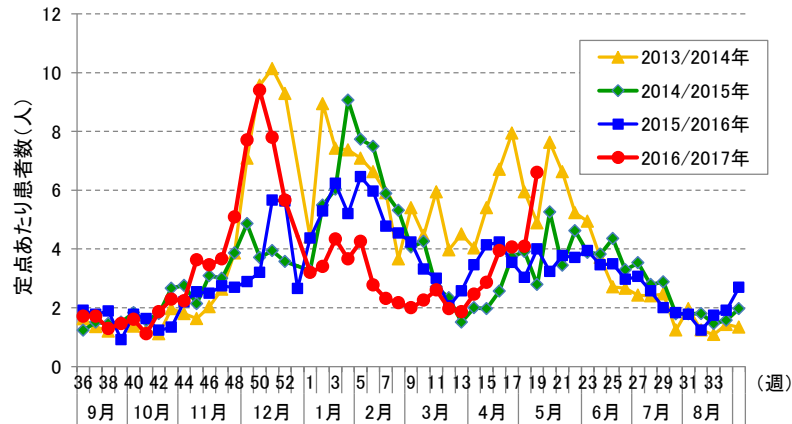


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

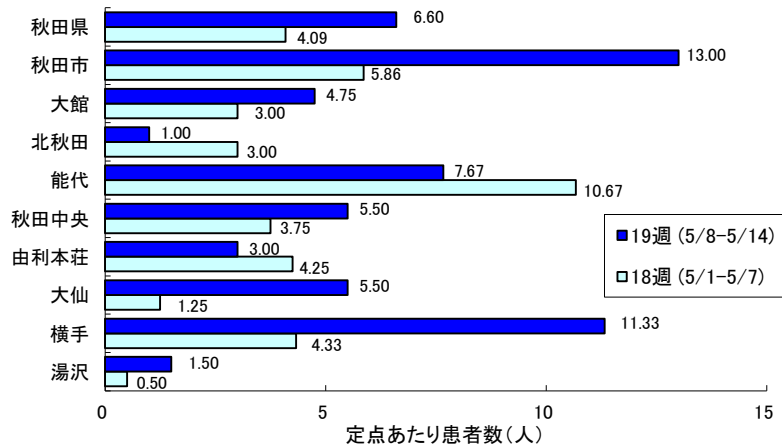


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生が9件報告されました。

No. 9

発生届出日 平成29年5月10日
 受付保健所 秋田市保健所
 施設名称 寺内保育所
 有症者数 園児131名のうち12名
 把握期間 5月6日から5月10日まで
 症状 嘔吐、下痢
 検査状況 3名中3名からノロウイルスを検出

No. 11

発生届出日 平成29年5月11日
 受付保健所 秋田中央保健所
 施設名称 湯上市立出戸こども園
 有症者数 園児164名のうち11名
 職員43名のうち1名 計12名
 把握期間 5月9日から5月12日まで
 症状 嘔吐、下痢
 検査状況 1名からノロウイルスを検出

No. 13

発生届出日 平成29年5月12日
 受付保健所 大仙保健所
 施設名称 大曲乳児保育園
 有症者数 園児55名のうち12名
 把握期間 5月6日から5月12日まで
 症状 下痢
 検査状況 5名中3名からノロウイルスG IIを検出

No. 15

発生届出日 平成29年5月15日
 受付保健所 大仙保健所
 施設名称 大川西根保育園
 有症者数 園児80名のうち11名
 把握期間 5月8日から5月15日まで
 症状 嘔吐、下痢、発熱、腹痛
 検査状況 2名からロタウイルスを検出

No. 17

発生届出日 平成29年5月17日
 受付保健所 秋田中央保健所
 施設名称 船越幼稚園
 有症者数 園児151名のうち18名
 把握期間 5月6日から5月17日まで
 症状 嘔吐、下痢、発熱
 検査状況 7名からノロウイルスを検出

No. 10

発生届出日 平成29年5月11日
 受付保健所 秋田中央保健所
 施設名称 湯上市立天王幼稚園
 有症者数 園児87名のうち10名
 把握期間 5月9日から5月15日まで
 症状 嘔吐
 検査状況 1名からノロウイルスを検出

No. 12

発生届出日 平成29年5月11日
 受付保健所 由利本荘保健所
 施設名称 西目保育園
 有症者数 園児58名のうち12名
 把握期間 5月9日から5月12日まで
 症状 嘔吐、下痢
 検査状況 5名中4名からノロウイルスG IIを検出

No. 14

発生届出日 平成29年5月15日
 受付保健所 秋田中央保健所
 施設名称 もりやまこども園
 有症者数 園児191名のうち15名
 把握期間 5月8日から5月14日まで
 症状 嘔吐、下痢
 検査状況 2名からノロウイルス、3名からロタウイルスを検出

No. 16

発生届出日 平成29年5月15日
 受付保健所 横手保健所
 施設名称 大森保育園
 有症者数 園児85名のうち10名
 職員25名のうち1名 計11名
 把握期間 5月10日から5月15日まで
 症状 嘔吐、下痢、発熱
 検査状況 1名からノロウイルスを検出

★感染性胃腸炎の集団発生状況(秋田市分含む)

平成29年度 17施設 発症者 217名
 <社会福祉施設4、保育園・幼稚園13>

【参考】

平成28年度 60施設 発症者 1,066名
 <社会福祉施設5、保育園・幼稚園53、学校1、宿泊施設1>

RAPIDs<topics> Report on Akita Prefectural Infectious Disease situation

<http://idsc.pref.akita.jp/kss/>

秋田県感染症発生情報

専門家向け情報

秋田県健康福祉部健康推進課 TEL: 018-860-1424/ FAX: 018-860-3821

秋田県感染症情報センター(秋田県健康環境センター内) TEL: 018-832-5005/ FAX: 018-832-5047

【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	大館(2.25)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

感染症発生動向調査における注意報・警報について(解説)

【警報・注意報の定義】

- 1) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
- 2) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。

対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報	対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)		開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)
インフルエンザ	30	10	10	百日咳	1	0.1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
感染性胃腸炎	20	12	-	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
水痘	7	4	4	流行性角結膜炎	8	4	-
手足口病	5	2	-	伝染性紅斑	2	1	-